事例No.	1420
公表年度	R3
団体の属性	中核市
団体名	大分県大分市

事例区分	一般行政

タグ	・税財政 ・新たな政策手法の確立・活用 ・人材確保・育成

事例種類	森林整備

事例内容・タイトル

森林経営管理制度を活用した森林整備の推進

出典

森林環境譲与税の令和２年度取組事例集（令和３年１２月）

大分県　大分市（森林経営管理制度を活用した森林整備の推進）

- 大分市では、森林環境譲与税について、既存事業だけでは森林整備が進まず、手入れ不足となっている「未整備森林」の解消に向けた施策に充当する方針。本市では、対象となる森林が広大で広範囲にわたるため10年～15年かけて整備を進めていく。
- 令和元年度においては、未整備森林の抽出を行い、意向調査対象森林の優先順位の設定、その森林所有者のリストを作成した。令和２年度においては、以下の取組を実施。
  - 未整備森林として抽出した森林の所有者に意向調査を行った。
  - 整備を実施していく森林の現況確認調査を行った。
- 令和３年度においては、優先度の高い地区より、現況確認調査と、森林整備に向けた取り組みを行うこととしている。

□　事業内容

1　森林整備に係る森林所有者意向調査

・今後の森林管理について意向調査を行い、森林整備のための現況調査を行う優先順位を設定した。

【事　業　費】20,542千円（全額譲与税）

【実　　績】意向調査数　4,660人　対象面積4,255ha
回答者数2,377人（回答率51％）
うち、市への委託希望971人
対象面積971ha（対象筆数2,889筆）
現況調査（森林整備）の優先順位を林班毎に設定した。

2　森林整備に係る現況確認調査

・未整備森林の育成状況等の現況調査をモデル的に実施した。

【事　業　費】298千円（全額譲与税）

【実　　績】面積1.27ｈａ　所有者3名
面積測量、プロット調査、現況調査を行った。

□　事業スキーム

1　整備区域選定に係る調査（未整備森林の抽出）（Ｒ１）
2　整備区域森林所有者の意向調査（Ｒ２）
3　整備区域の現況調査（Ｒ２～）
4　森林整備に係る手続き（Ｒ３～）
5　森林整備の実施（Ｒ３～）

□　工夫・留意した点

- 森林簿の所有者情報と固定資産課税台帳の所有者情報を結合した。
- 優先順位については、境界がわかる、面積がまとまっているなどの要件を満たす区域（林班）から設定した。

◇　基礎データ

①令和２年度譲与額	70,152千円
②私有林人工林面積（※１）	7,632ha
③林野率（※２）	51％
④人口（※３）	478,146人
⑤林業就業者数（※３）	126人

※１：「森林資源現況調査（林野庁、H29.3.31現在）」より、
※２：「2015農林業センサス」より、※３：「H27年国勢調査」より